

2018年度 歯科衛生士復職支援・新人研修プログラム

研修コース概要

専門基礎研修

区分	コース	コード	科目	講習分類		内容	期間	定員
				講義	実習			
必修	基本業務・ 口腔健康管理	A-1	専門的口腔ケア	○	○	歯科衛生過程に基づく全身疾患や口腔内の状況に応じた専門的口腔ケアを、情報収集、問題の明確化、歯科衛生計画・立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価及びそれらの書面化について講義及び実習を通じて学修する。この課題では、義歯やインプラントへの対応についても学修する。	1日	18
		A-2	スケーリング・ルートプレーニング	○	○	ハンドスケーラーの操作方法やシャープニングを講義及び実習を通じて学修する。また、超音波スケーラーやエアスケーラーに関しても講義及び実習を通じて各種チップの使い分け、口腔内の状況にあわせた使い方を学修する。	2日	18
		A-3	歯科材料・機器・診療補助	○	○	歯科材料と機器は常に改良され、新しい製品が臨床で使用されている。研修時において使用頻度が高い若しくは最新の歯科材料と機器の情報を知り、取扱い方法と診療補助を学修する。	1日	18
		A-4	口腔機能リハビリテーション	○	○	摂食嚥下障害の検査法とリハビリテーションの方法を講義と実習で学修するとともに、ドライマウス検査法についても学修する。	1日	18
	訪問診療	A-5	訪問歯科診療	○	○	訪問歯科診療の概要、具体的な実施要領、歯科衛生士としての業務を学修するとともに、訪問診療で用いる器材の準備、訪問先での設置及び片付けについての学修を行う。	半日	18
	接遇・管理	A-6	感染予防	○	○	歯科医療現場における感染予防に関する基本的事項と対策を、本学附属病院の院内感染防止マニュアルを含めて学修し、実践能力を養成する。	半日	18
		A-7	医療コミュニケーション	○	○	適切な患者とのコミュニケーション、医療従事者間のコミュニケーションやクレーム時の対応について、講義と実習を通じて学修する。	半日	18
		A-8	医療安全	○	○	歯科医療現場における医療事故の防止は、非常に重要な課題である。どのような安全対策を講じて実施する必要があるかを、本学附属病院での例を取り上げながら講習する。	半日	18
選択	接遇・管理	B-1	全身管理	○	○	高齢患者の増加に伴って、全身疾患を持つ患者の対応が重要になる。全身疾患を有する患者への対応を学修し、生体情報モニタの利用法を修得する。	半日	18
		B-2	周術期の口腔管理	○		周術期における口腔管理の効果、多職種連携について学修するとともに、本学附属病院病棟での口腔管理について学修する。	半日	18
	保険業務	B-3	保険診療と診療報酬	○		歯科医療に関する保険制度は改正が行われてきている。そこで、現在の医療保険制度、歯科衛生士業務を中心とした保険制度に基づく処置及び歯科診療報酬について学修する。	半日	18
		B-4	電子カルテ	○	○	電子カルテへの理解が歯科衛生にも求められる。そこで、電子カルテの仕組みを学修するとともに、本学附属病院で採用している電子カルテの利用法を学修する。	半日	18